



みなさん、こんにちは。

業務紹介第4弾として電気通信分野の業務内容を、水管理・国土保全局砂防部砂防計画課地震・火山砂防室 石井砂防情報係長（入省6年目）より語っていただきました！



石井砂防情報係長（入省6年目）

1. 電気通信関係の業務の国土交通省における役割を教えてください。

私たちの社会や経済を支えている道路・河川・砂防・ダム等の公共インフラがいつでも確実に機能し、私たちが安心して暮らせるように、様々な電気通信システムが活躍していることをご存じでしょうか？

身近に見える道路照明等の他にも、例えば大雨が降った時に河川の氾濫や土砂災害の危険の高まりを把握し、住民に避難の呼びかけや道路の通行止めをしたり、大きな地震が起きた時に施設に異常がないかを早期に把握したり、災害時には早く確実に被災情報を把握したりと、行政の対応や住民への情報提供等には監視・観測機器や情報ネットワーク、情報システム等、様々な電気通信システムが欠かせません。

電気通信分野では、道路・河川・砂防・ダム等の公共インフラに関わる電気通信システムの企画、整備、管理や技術基準の策定等を行っています。

2. 現在の目玉施策を教えてください。

近年の情報通信技術の目覚ましい進展を踏まえ、公共インフラに関わる電気通信システムもより安全、便利なものになるよう高度化が進められています。

例えば、土砂災害の危険性の高い区域における工事では、作業者の安全確保のため建設機械を無線で遠隔操作して実施することがありますが、この無線に5Gを使うことで実用上どのような利点や問題点があるのかの検証や、これまで人の目で行っていた交通量計測や施設の異常監視等を、AIを使った監視カメラの画像解析で行う技術の検証等が進められています。

建設業の担い手が減少する中、デジタルトランスフォーメーションの流れもあり、様々な新技術を活用して生産性、安全性等を向上させることが期待されています。



3. ご自身が担当されている業務内容について教えてください。

土砂災害の恐れや発生状況を早期に把握するための監視・観測機器や情報システムの企画や土砂災害に関する情報発信、防災教育やイベントの調整等を行っています。

土砂災害はひとたび発生すると更なる二次災害に繋がることもあり、緊急的な対応や住民の警戒避難を行うため、いかに早く発生情報を把握できるかが重要となります。最近では、JAXAと協定を結んで実施している衛星観測による災害調査の運用調整や、監視・観測機器の高度化に向けた検討などを行っています。

また、土砂災害から身を守るためには土砂災害に関する知識・意識の向上が欠かせません。住民の土砂災害への意識向上に向けて、SNS を活用した情報発信や土砂災害防止に関するイベント開催の調整等も行っています。

4. 苦労する点や、やりがいについて教えてください。

土砂災害の発生要因として雨量や地形などの指標がありますが、その発生メカニズムは完全には解明されておりません。いつどこで発生するか予測が難しい土砂災害を、各種監視・観測機器、ヘリ、衛星等の様々な技術を組み合わせて、いかに早期に把握していくかという防災の大切な仕事に携わることは、非常にやりがいを感じる点です。

一方で、実際に災害が発生すると本省、地方整備局、関係機関等多くの関係者と調整しながら日夜対応に当たる等、大変なこともあります。しかし、災害対応を通じて被災地の安全確保、早期復旧に貢献していると感じることができ、日々の業務のやりがいにも繋がっています。

5. 国土交通省を目指す方へのメッセージをお願いします。

国土交通省では国土全体を網羅する国の公共インフラに関わる事業等、スケールの大きな仕事に携わる機会や、私たちの生活に直結した業務が多くあります。国土交通省の仕事に興味を持っていただいた方は、是非、採用関係イベント等に参加してみてください。



国土交通省の防災ヘリ



国土交通省

MLIT Recruiting site

【総合職技術系】 ～業務紹介～④

Facebook、Instagram の採用ページにも掲載しています！

Facebook ⇒ <https://www.facebook.com/mlit.recruit>

Instagram ⇒ https://www.instagram.com/mlit_recruit



令和2年7月豪雨で長崎県で発生した地すべり



国土交通省防災センター